



ロータリー:
変化をもたらす



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
10月26日	徳雲寺 住職 岩佐 昌昭 様	備前焼の魅力について
11月2日	休会	
11月9日	議長 佐々木哲也	年次総会・意見交換会
11月16日	新古美術 神田石雲堂 4代目 神田 慎一 様	ホンモノを知りニセモノを知る

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
42	31	11 (3)	79.49%	— %

■欠席者

大島治 / 福田 / 石原俊 / 小汀 / 土江 / 黒田 / 山口 / 園山
(山根 / 牧野 / 遠藤)

■来訪者

なし

■メイクアップ

10/21 佐々木・曾田・高砂 (地区大会)
10/22 佐々木・曾田・高砂・河原・清原・釜屋・黒田・来間・榎野・
小汀・大島卓・恒松 (地区大会)
10/24 大島卓 (出雲)
10/25 大島卓・福田 (大社)

■次回例会受付当番

(11月16日) 持田稔樹 / 内田節夫 / 遠藤 栄
(11月30日) 大谷良治 / 福田磨寿穂 / 河原治子

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 11/27(-) 12/18 12/25(-) H30.1/22	松江南 12/18 12/25
火	出雲 11/21(-) 12/12 12/26(-) H30.1/2(-)	松江しんじ湖
水	大社 11/15 11/22(-)	松江 11/22 12/20 12/27 H30.1/3
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 12/21 12/28(-) H30.1/4(-)
金	出雲南	

■会長挨拶

この1週間はいろいろと慌ただしい期間でした。

先週 19 日には 5 クラブ会長幹事会が開催され、4 月 8 日 日曜日におこなわれる 5 クラブ合同の植樹について最終合意しました。出雲文化伝承館に 8 時集合、8 時半からセレモニーを開始し、植樹を含めて 10 時には終了する段取りです。4 月の例会振替、当日の具体的なスケジュール調整などをおこない、出欠を確認させていただくこととなります。多数の会員参加を希望しております。

21・22 日は地区大会でした。地区大会の日程は 2 年も前から決まっていた訳ですが、衆議院選挙に加えて、台風まで襲来することになってしまいました。22 日早朝から出席いただいた会員の皆さん、また出席いただけませんでした。登録にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

今回の RI 会長代理は非常に個性的な方でした。

本会議の記念講演は、徳川宗家 19 代当主徳川家広氏の「関ヶ原から読み解く日本近代史」と題した講演でした。現在通説となっている関ヶ原の戦いにみられるいくつかの矛盾点を、独自の視点で解説されていました。詳細は割愛しますが、いずれは出版を考えられているとのことでした。

前日の地区指導者育成セミナーでは、2010 年のノーベル化学賞受賞者で、北海道大学名誉教授・倉敷芸術科学大学特別名誉教授である鈴木章先生の記念講演を聴きました。「人類の進歩に役立つ科学の例」というタイトルで、当時問題の多かった高分子の炭素化合物を化学合成する技術を研究され、スズキカップリングと呼ばれる非常に有用で汎用性の高い技術を確立されました。この技術は高血圧治療薬(降圧薬)の合成に端を発し、農業・液晶・発光ダイオードなどの製造に数多く用いられている身近な技術であることを知り、難しいお話しながらも、個人的には非常に興味深い講演でした。

来年は 10 月 21 日岡山市での開催です。

■幹事報告

1. ガバナーエレクト末長範彦様、次期地区 R 財団委員長鳥居 滋様より「次期クラブ R 財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー」のご案内
日時 12/10(日) 14:00~16:00 / 受付 13:30~
場所 ホテルグランヴィア岡山
出席義務者 次期会長・幹事・R 財団委員長

2. 11/26(日)カミアリーナで開催されます第 5 回全国ロータリークラブ親睦卓球大会 in 出雲に当クラブ 2 チーム(6 名)の参加登録いたしました。なお、前夜祭も 10 名の登録をしました。

3. 地区大会において表彰
2016~17 年度 年次基金への寄付 1 人当たり 150 ドル以上達成クラブ

■スマイル

佐々木 (徳雲寺岩佐様、平田 RC へ ようこそお出かいたいただきました。本日のスピーチよろしくお願ひします。
地区大会に登録、出席いただいた皆さんお世話になりました。
ダジャさん例会へようこそ。誕生日おめでとございます。)



曾田 (先日の地区大会には大変お世話になりました。徳雲寺住職岩佐様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。ダジャ様誕生日おめでとございます。)

高砂 (岩佐様スピーチ楽しみにしていましたが、残念です。所用のため早退します。
飯塚様、先日は大変お世話になりました。少しだけお経の唱えかた勉強になりました。)

飯塚大 (徳雲寺様ようこそいらっしゃいました。スピーチよろしくお願ひします。ダジャさんようこそいらっしゃいました。)

釜屋 (岩佐様(保護司)スピーチよろしくお願ひします。)

原泰 (岩佐様スピーチよろしくお願ひします。)

三好 (岩佐様本日はようこそお出かけ下さいました。スピーチよろしくお願ひします。)

河原 (今日は早退します。(お寺での用がありますので))

■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

「備前焼の魅力について」

徳雲寺 住職 岩佐 昌昭 様



私は、愛媛県の八幡浜という港町出身です。アパレル関係の職を3年ほどやっていたころ、造ることに興味を持ち、23歳の時備前焼、中村氏の徳利焼きに魅せられ焼物の世界に入りました。8年ほどこの仕事に没頭していたが、妻の実家が寺であったこともあり、焼物もしながら寺(禅宗)の仕事も始めて行った。



今日は、焼物のお話を中心に(六古窯)がある先ず備前焼(岡山発祥)を手がけた事をお話します。備前焼は釉薬を用いない焼き締めである。古来から唯一焼き締めの用法で行われ、伝統を誇ってきました。また、備前焼の生命である土は、名高い北大路魯山人が絶賛したほど、良い土である。

備前焼は、岡山県備前市伊部で発祥し、鎌倉時代(1185～1333年)に成立しました。薪を主体に1200～1300度の高温で熱成し堅く締められた赤みの強い味わいや、「窯変」によって生み出され、一つとして同じものがない模様が特徴。



略歴

- 昭和 54 年 愛媛県に出生
- 平成 15 年 備前陶芸センター入所
- 平成 16 年 山麗窯(備前)入社
- 平成 19 年 小川顕三氏(信楽)に師事
- 平成 23 年 出雲市にて独立
- 平成 23 年 出家得度し端龍寺専門道場での修行を経て、
徳雲寺住職に就任
- 平成 28 年 穴窯を築窯
- 平成 28 年 第 33 回田部美術館大賞、茶の湯の造形展入選

最後に私事ではございますが、下記日程で作陶展を開催いたしますのでお時間がございましたらお出で下さいませ。

日 時 11/25(土)・26(日)・27(月) 9:30～18:00
場 所 渡部漆器店 奥座敷